

PEACE GOURD



9条の会・養老
会報、第5号
2017年1月10日
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

「9条の会・養老」この1年を振り返って

2017年1月
世話人代表 中野一美

- ◎ 「9条の会・養老」は昨年2016年の2月20日に、西濃ではいちばん新しい、10番目の会として設立されました。
一昨年の安保関連法案反対運動の高揚の中、この養老にも「9条の会」を作ろうと、有志で11回の、準備会や弁護士を招いての勉強会を開催し、普通の人々が戦争への道に反対する声を上げられる場を作ろうと呼びかけました。
新聞折込チラシ4000枚を入れて、設立総会当日は約60名の人々が集まり、揖斐川町の住職横山周導氏のシベリア抑留体験を聞いた後、会則と世話人4名を決め、当日の入会者も含め60人の会員でスタート。
- ◎ 3月20日に会報”ピースガード” 「平和の瓢箪」第1号を発行。その後10月16日の第4号まで発行することができました。
- ◎ 4月2日には花見客でにぎわう養老公園での署名とアピールを実施。12名が参加し、「戦争法の廃止を求める統一署名」76筆を集め、チラシ150枚を配布。
- ◎ 4月28日には烏江駅で「憲法9条改定に賛成・反対？」のシール投票。主に大垣養老高校の生徒を中心に176人が投票し、結果は「9条を守る」が121人(69%)、「わからない」54人(30%)、「変える」1人(1%)と多くの若者が素直に平和憲法を守りたいと考えていて、勇気をもらいました。
- ◎ 5月12日、参議院選挙に向けて、県の9条の会も参加する市民運動と野党三党が「ピースハートぎふ」を結成。小見山氏と安保法制廃止などの政策で協定を結ぶ。私たち養老でもできる限りの協力をしていくことを世話人会で確認。
- ◎ 5月14日、安保条約のDVDを視聴しての懇談会。15名が参加。



♪ ♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪ ♪

- ◎6月11日には新緑の養老公園での署名とアピールを実施。10名が参加し、署名が71筆、チラシ200枚を配布。
- ◎7月10日参議院選挙、消費税10%への増税の再延期を争点にされ、改憲派に2/3の議席を許してしまうが、市民と野党の共闘も11議席を確保し、将来の展望も見えた。
- ◎7月23日、小畑公民館にて、山本妙弁護士を招いての憲法学集会を開催。「西濃法律事務所友の会・養老支部」との共催で35名が参加。初めての人、地元小畑の人も数名参加された。この会の案内と「選挙に行って平和な未来を守ろう」という訴えのチラシを5000枚作り、新聞折込4000枚や地域での配布を行った。
- ◎9月17日、ソフトピアジャパンで「九条の会岐阜県交流会」が行われ、全県の約80の9条の会から160名が参加、私たち「養老」も5月から準備に参加し、西濃の各9条の会の歩みを紹介するビデオ製作の中心として活動した。
- ◎11月26日、広幡公民館で輪之内町の元住職、田中秀啓氏の戦争体験を聞く会を開催する。公民館周辺にお誘いのチラシを配り、中日新聞も事前の予告記事を出してくれたので45名の参加があり、近所の人、初めての人が多く、会員も3名が増えた。
- ◎12月22日、会として初めてお酒も出た年末懇親会。世話人である私（中野）の自宅で会費制の鍋会を開き、18人の参加。

あわただしく過ぎた1年でした。まだまだ微力ですが会員は約70人になりました。声を上げ続けなければ、日本が戦争する国に進むのを黙認することになってしまう。今年も皆それぞれが、できる範囲で学び、声を上げていきたい。



2016年、年末懇親会、思わぬつながりの再発見

世話人：堀江 法夫

クリスマスを間近にした12月22日、中野代表宅にて年末の懇親会が開催され、男性13名女性5名の計18名の参加で共に語り合う会となりました。

暖かい鍋を囲みながら、一人ずつ「憲法9条」に対する思いや「養老町のこれから」などを語ってもらいました。これまで研修会や署名活動を中心にした活動の中でも、互いに思いや9条との出会いなどの語り合いはほとんどしてこなかっただけに、思わぬ縁の再発見に、とても新鮮でお互いを知り合う時となりました。

話の中で、「自分たちは先輩たちの大きな戦争の犠牲のもとで70年間平和憲法ができ守られた。その私たちが、戦争ができる憲法に変えていった方がいいのだろうか。何としても養老でもこの9条を守る運動をしていきたい。」「今現在も気になっているのは、7月に起きた相模原の入所施設での痛ましい事件である。この深いところにある闇の部分を見ていきたい。」「集団的自衛権あたりからこれは大変なことになるという思いが強くなった。」

「9条の会・養老」の活動はこれからますます多岐にわたると思います。沖縄の基地の問題や原発の問題さらに靖国神社の問題等活動が困難にあっていくことが予想されます。このためにも今回のような懇親会を通して思いを語り合い、刺激されながら学んでいくことが大切だと思いました。次回もよろしく……。



沖縄・米軍基地取材レポート その③

報告：佐竹 哲（世話人）

昨年5月に引き続き再度、先月の14日～16日の3日間、有志3人と沖縄へ出かけました。目的は、4月に大垣別院で開催する『別院平和展』の資料作りであります。

沖縄取材は予め日程を決めておりましたが、なんと出発前夜13日に普天間所属の新型輸送機オスプレイが名護市沿岸部に墜落するニュースが飛び込んで来ました。私たちは、不安と緊張を抱えて出発することになりました。取材の一部ですが紙面を借りて報告致します。

◎普天間基地

12月14日、お昼に那覇空港に到着、午後1時過ぎに宜野湾市の普天間基地を訪ねました。右の写真は、嘉数高台公園の展望台から撮影しました。5月にも同場所で撮影しましたが、住宅密集地に基地がある光景は、何度見ても言葉を失います。オスプレイの事故直後であったのでオスプレイ飛行訓練は自粛し、駐機されていません。

『普天間米軍基地から爆音をなくす訴訟団』の赤嶺さんは、「この基地は敗戦時、米軍が住民を収容所に拘束して土地を奪い建設したものです。解放後、行き場を失った住民は仕方なく基地の周辺に住むことになったのです。」と説明してくれました。



・展望台より北東を向いて撮影。
市街地の奥に何機もオスプレイが見える。

◎オスプレイ墜落現場（名護市安部の海岸）

16日に読谷村の知花昌一さんの案内でオスプレイ墜落現場に向かいました。規制線が張っており、沖縄県警も立ち入り出来ずに遠くから傍観する様子は、「本当にここは日本なのか」と驚くほかありません。すぐ近くに住宅もあり、住民に被害がなかったのは奇跡的であったと実感しました。



・墜落したオスプレイの残骸を沖に集める米兵たち。沖縄県警の立ち入りも許さず。



◎東村・北部演習場（高江ヘリパッド）

現在、政府は東村・高江にオスプレイ用ヘリパッドの追加工事を強行しています。左写真はその現場です。全国から集められた500人程の機動隊が建設反対の座り込み住民を工事入口から排除し、厳しくガードしていました。多くの機動隊員がマスクを付けていることを不思議に思い、知花さんに尋ねると、「彼らも顔を知られたくないから」と教えてくれました。現場は敵味方となり共に苦しんでいます。

「戦争のあやまちに学ぶ」と題された講演会に行ってきました。

昨年11月26日の、戦争体験を聞く会に参加しての感想を寄稿させていただきます。

講師：田中秀啓さん、輪之内町正光寺元住職（93歳）

「明るい養老、赤旗読者版」858号の記事を一部編集しました。

飯田1051-38

水谷 久美子

若干正確さにかける部分があるかもしれませんが、私（水谷）のメモから印象に残ったお話を列記します。

「衛生兵として赴任したマニラの病院は日本軍占領前に米軍が使用していたもので、看護婦が500名、医者が200名の大きな病院だった。」「衛生兵といっても実際にやったことは病院で亡くなる兵隊の葬式が多かった。」

「『天皇陛下万歳』などといって死んだ兵隊などおらぬ。みんな家族のことを心配していた。」「靖国神社は宗教の衣をまとった軍事施設である。」と、ここから「九段の母」の歌詞の話になります。

「両手合わせてひざまずき拝む弾みのお念仏はっと気づいてうろたえました。せがれ許せよ田舎者。」

左記の歌詞は、田中さんが紹介された「九段の母」の一節です。戦死した息子を弔うために靖国神社に参拝したとき、思わず念仏を唱えてしまった母のことを詠っています。

靖国神社は軍が設立し、軍が管理し、神社庁には属さない特殊な施設です。戦死した息子はもはや息子ではなく神である、と。

子を亡くした母の自然な感情さえ許さない異様な時代の雰囲気を作り出したのは「皇国史観」であると、田中さんは断罪します。

今度の講演会は広幡公民館で開催され、公民館近隣の住民の方も参加されていました。7月には小畑公民館で憲法学集會が開かれましたが、今後このような催しが地域単位で開かれれば、中央公民館まで出かけるのは億劫だがという人も参加しやすいのではないかと思います。

「9条の会・養老」設立1周年の総会を開催します

日時：2017年2月18日（土）午後2時より

場所：養老中央公民館、2F第3会議室

内容：現在世話人会で検討中

「9条の会・養老」も2月で1周年となります。総会の企画内容について、皆様のご意見要望を世話人までお寄せ下さい。

編集後記

昨年末の「年末懇親会」には、想定外の(?)18名の会員さんが参加してくれて、旧知の間柄や意外な人とのつながりを再発見する場となりました。

それにしても昨年12月の臨時国会の暴走ぶりには開いた口が塞がらないともいうべきでしょうか。

立憲デモクラシーの会の学者が言っていました。「今の内閣は明文化されてないことは何をやってもいいと開き直っている。」憲法というルールを守らせるのは主権者国民の責務との思いを強くしました。

問山 尚義（世話人）

連絡先

「9条の会・養老」世話人

090-9183-0444 中野一美（代表）

090-9894-0444 佐竹 哲

090-2348-0719 問山尚義

090-4857-1385 堀江法夫

fax(問山)

0584-71-8746

E-mail(問山)

toiyama@ninus.ocn.ne.jp